

令和 2 年 3 月 5 日
岩手県環境生活部
資源循環推進課

令和元年東日本台風に伴う災害廃棄物処理の状況について

1 災害の状況

岩手県では令和元年 10 月 11 日から前線の影響で雨が降り出し、台風が接近した 12 日夜遅くから沿岸部で非常に激しい雨となって、最接近時の同月 13 日未明には沿岸北部で 1 時間に 100 ミリ以上の猛烈な雨が降った。総雨量は普代村の 467 ミリを最大として、沿岸部の広い範囲で 300 ミリ以上となり、平成 28 年台風第 10 号をしのぐ記録的な大雨となった。

2 被害の状況

人的被害：死者 3 名、負傷者 7 名

建物被害：全壊 95 棟、半壊 1,350 棟

3 災害廃棄物の発生状況

発生推計量：約 5 万 3 千トン（稻わら、廃棄物混じり土砂及び家屋解体等を含む）

4 仮置場の状況

仮置場については、10 市町村において最大 20 箇所設置された。

このうち、身近な仮置場である 4 箇所は、年内にすべての廃棄物を処理
現時点では、7 市町村において 14 箇所設置

5 災害廃棄物の処理状況

県内 10 市町村において、環境省の災害等廃棄物処理事業補助金を活用し、災害廃棄物を処理（現在 3 町村で処理終了）

仮置場において 6 種類以上に分別の上、処理を行っており、主な処理は以下のとおり。

- ・可燃物及び不燃物：各自治体の処理施設において処理
(一部内陸部自治体の施設による広域処理を実施)
- ・木くず : リサイクル可能なものについてはリサイクル。それ以外は焼却
- ・コンクリートがら、家電、鉄くず : リサイクル

6 これまでの事務処理等の状況

- | | |
|---------------|--|
| 10 月 31 日 | 補助金制度に係る説明会の開催（環境省東北地方環境事務所及び
国土交通省東北地方整備局より説明） |
| 11 月 22 日 | 県が「令和元年台風第 19 号による災害廃棄物の処理指針」を策定 |
| 12 月中 | 市町村が災害等報告書を作成 |
| 2 月 12 日～21 日 | 災害査定 |



久慈市の被災状況（浸水状況）



宮古市の被災状況（集積場所）



久慈市の仮置場状況（種別に看板を設置し、ブルーシート敷き）



普代村の仮置場状況（種別に看板を設置）



宮古市の仮置場状況（種別に保管）